



平和のこと



吹田市に残る戦跡について

よどがわ市民生協の本部は吹田市幸町にあります。私たちにとっても身近である吹田市で、太平洋戦争末期の1945年に11回の空襲があり、34人が亡くなられたことをご存知でしょうか。*

JR吹田駅付近だけでも多数、戦争被害の名残があります。例えばJR吹田駅 京都線ホームの屋根は高さが異

なる部分があります。これは爆風で屋根が飛ばされたのち、修復され高さが低くなっています。普段何気なく生活しているわたしたちの暮らしの中にも、未だに戦争の影響が残っています。みなさんご自分が住んでいる町の戦争の歴史について調べてみてはいかがでしょうか。戦争を近くに感じられると思います。

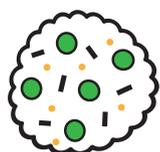


令和6年能登半島地震・豪雨災害

よどがわ市民生協エリアへの避難者支援 期間延長

よどがわ市民生協の活動エリアへ一時的に仮住まいおよび転居して避難している被災者で、生協の利用を希望している人へ、個人宅配の手数料無料(1年間)措置を**2027年3月3回まで**実施します。

【お問い合わせ】 **コールセンター 0120-727-263** 月～金 9時～21時/土 9時～17時



なにわフードバンク 視察報告

“しっかり食べや”



『なにわフードバンク“しっかり食べや”』は、2025年4月1日に大阪府内の生活協同組合や農業・漁業協同組合、福祉団体などが協力して設立しました。

よどがわ市民生協は、同法人に加入することを昨年6月の第48回通常総代会にて提案し、確認しました。その後10月に理事会メンバーで現地視察を行い、『なにわフードバンク“しっかり食べや”』の松岡理事長より、『今の子ども実態・背景』を聞きました。

夕食を食べてない・孤食の子どもたち

数年前に実施した大阪府のアンケート結果によりますと「週にどのくらい、夕食を食べていますか?」という問いに対し、「週に1回」「食べない」という子どもが推定400人以上いました。また大人と一緒に食事をしていない『孤食』も推定1万5,000人ほどであることの実態を知りました。

食材を集めるだけでなく、今の子どもの実態について知り、『私たちに何ができるか?』と自分事として考えることが大切です。

また、フードバンクに寄せられた食品ロス商品を仕分けする作業も、毎回組合員ボランティアを募って実施しています。



よどがわ市民生協ができること

同法人の正会員として、子どもたちの状況が少しでも良くなるよう、実態を知り、支援の輪を広げましょう

